

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	鹿屋市高隈グリーンカントリー
所在地	鹿屋市上高隈町大笹柄
指定管理者	名称： <u>大隅湖観光管理組合</u> 代表者： <u>組合長 岡本 孝志</u> 住所： <u>鹿屋市上高隈町262番地 1</u> 連絡先： <u>0994-45-2770</u>
モニタリングの実施経過	●月例報告（毎月） ●現地調査 ●その他（ ） ●事業決算の確認 ●利用者アンケート
担当部課 (問合せ先)	農林商工部ふるさとPR課 電話0994-31-1121 内線 3246

【モニタリングの総合評価】

指定管理者である大隅湖観光管理組合は、地域住民で構成された団体であり、自然豊かな高隈の資源を大いに活用し、利用者へ幅広いサービスを提供している。
 また、将来的展望を独自に推進しており、地域の活性化にも資するサービスの向上に努めており、施設運営管理は適切に行われている。

【今後の業務改善に向けた考え方】

《指定管理者が実施・検討する事項》

・現在、高隈グリーンカントリーで利用できる宿泊施設が、大型バンガロー（40人用）のみとなっているため、少人数での利用者に対してのサービス拡充を図っている。近年利用者が減少している傾向改善策として、テントサイトを設け、顧客のニーズに答えていること。

《施設所管課が実施・検討する事項》

・自然豊かな高隈地区の観光スポットとして誘客促進や、観光客の対応等を地域住民が主体となって取り組み、地域の活性化に繋げて行くよう、今後もサポートしながら検討していくこと。

(1)基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）	
① 合目的性・公平性・効果性	・利用者の要望に応えるため、大型バンガロー及び周辺の定期清掃や敷地内の整備も積極的に行っており、地域の活性化を図っている。
(2)業務内容	
①機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）	・利用者への要望を取り入れ、大型バンガロー（40人用）を少人数でも宿泊利用しやすい環境整備を行い、誘客促進に積極的に取り組んでいる。
②責任性・実行性（施設の運営体制や組織）	・鹿屋市高隈グリーンカントリー条例等の規定に従い、適正に運営されている。 大隅湖観光管理組合は、地元住民の組織であり、地域性豊かな特徴ある催事が多いことから、それらを活用しながら誘客に取り組んでいる。
③明瞭性・規律性（適正な事務や経理）	・事務は適正に行われており、また経理に関しても会計主任を別に設け、毎月の出納簿等の整理を適正に行っている。
④安全性（安全管理・緊急時等の対応）	・緊急時の組織体制も作成されており、安全管理は整っている。
⑤社会性（環境等への配慮）	・自然体験型施設なので、節電等にも取り組んでおり、利用者の要望があれば、地域資源を融合させた散策ルート作成など誘客対策を行っている。
(3)事業収支	
①経済性	・効率良く管理運営を行っている。
(4)団体の経営状態	
①経営の健全性	・指定管理者である大隅湖観光管理組合は、大隅湖周辺の管理を行うために地元を中心として設立された団体である。収支状況はプラスであることから、経営は健全であるといえる。

施 設 概 要 調 書

1 施設の概要

施設名	鹿屋市高隈グリーンカントリー		所 管 課：ふるさとPR課
所在地	鹿屋市上高隈大笹柄		設置年月日：H. 5. 3. 31
設置目的	市民に健全な保健休養、研修及びレクリエーションのための場を供与し、もって地域の活性化を図るとともに市民の福祉の増進に寄与する。		
設置の根拠 (法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市高隈グリーンカントリー条例 ・鹿屋市高隈グリーンカントリー条例施行規則 		
施設の概要	設備の概要	敷地面積	8,895㎡
		延床面積	135.375㎡
	《有料》 大型バンガロー 宿泊：660円/人 休憩：220円/人 持ち込みテント 550円/張		
事業概要	(1) グリーンカントリーの使用許可等に関する業務 (2) グリーンカントリーの維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める事業		

2 経営分析評価指標

① 事業収支	14千円	④外部委託費比率	0%
② 利用料金比率	22.1%	⑤利用者あたり管理運営コスト	2,612円/一人
③ 人件費比率	47.7%	⑥利用者あたり自治体負担コスト	2,059円/一人

※ 少数点第2位四捨五入

3 運営状況

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
開館日数	269日	269日
開館時間	—	—
事業開催	—	—

4 利用実績

項目	実施計画（事業計画書より）	実施内容（実績）
貸し室等 利用回数	会議室 1	
	会議室 2	
	会議室 3	
	計	
施設利用 人数	会議室 1	
	会議室 2	
	会議室 3	
	計	215人
相談件数		
講座参加者数		
合 計	215人	441人

5 事業収支

(単位: 千円)

項目		実施計画 (事業計画書より)	実施内容 (実績)
貸し室等利 用収入	会議室 1		
	会議室 2		
	会議室 3		
	計	200	258
その他料金収入			
自主事業収入			
指定管理料		875	908
その他収入			
収入計 (A)		1,075	1,166
事業費			
人件費		400	550
修繕費		100	110
通信運搬費			
施設管理費			
印刷製本費			
光熱水費		72	80
委託料		240	0
保険料			
租税			
雑費		103	29
管理費		160	383
支出計 (B)		1,075	1,152
収支 (A) - (B)		0	14

指定管理者自己評価表

令和 2 年 5 月 26 日

指定管理者 大隅湖観光管理組合

施 設 名 高隈グリーンカントリー

確認事項		自己評価
履行確認	1 協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営を行っているか	③・2・1
執行体制	2 人員の配置が適切であるか	③・2・1
	3 従業員に対し、業務に必要な研修や教育を適切に行っているか	③・2・1
	4 就業規則等を遵守し、雇用者の労働環境を確保しているか	③・2・1
	5 個人情報の取扱いは適切に行っているか	③・2・1
安全対策	6 危険箇所の把握及び点検を行い、利用者等の安全安心に努めているか	③・2・1
	7 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であるか（緊急連絡網や初動対応要領の作成等）	③・2・1
サービスの質	8 親切丁寧な接客に努めているか	③・2・1
	9 利用者からの苦情等に対し適切に対応しているか	③・2・1
	10 特定の者に有利又は不利な取扱いをしていないか	③・2・1
	11 サービス向上及び利用促進のための取組を行っているか	③・2・1
報告事項	12 利用者の満足度調査（聞き取りを含む）等を行っているか	③・2・1
	13 施設の破損及び異常について、速やかに対応し、市へ報告しているか	3・②・1
経営状況	14 利用者数や稼働率等は適切な水準であるか	3・2・①
	15 事業収支は妥当であるか	③・2・1
総合評価 (所感)	集客方法・宣伝をもう少し考えなければいけない。	

【自己評価の採点基準】「3」…優 「2」…良 「1」…可

※ 総合評価（所感）の欄には、年間を通じた指定管理業務において評価できる点や改善点・反省点を踏まえた所感を記載すること。